

B A M B さ と
読者の声
竹の郷

いた私には、開業することに非常に抵抗があった。病院での医療こそチーム医療と考えていたからだろう。

まだ開放型病院もほとんどなく、入院された患者さんの病院に継続診療のため通った。そんななかで嬉しかった言葉は「よくぞ、この八尾（大阪府八尾市）で開業してくれた！」といわれたことである。患者さんとともに交流する会（松樹会）をつくって一緒にものをつくったり、いろんな勉強会やレクリエーションなど患者さんが元気になるようなことを次々と企画していくうちに、徐々に「開業こそ自分のやりたいようにアレンジできる医療なんだ」と思うようになってきた。

患者さんがより近く家族のように感じられるとともに、在宅医療を通じて、患者さんの家族、ナース、薬剤師、介護職の方々との二四時間の連携をすることにより深いチーム医療を実感してきている。

祖母に育てられた私はいつも「祖母の特効薬」だと言われてきた。今は地域の皆さんの特効薬になれるよう頑張っていきたい。

●お知らせ

「竹の郷」では読者の皆さんの声を募集しています。テーマは医療に関することなら、どのようなことでもかまいません。また、小誌へのご意見・ご感想、ならびにご質問等でもけっこうです。

掲載者には、小誌を半年間、無料贈呈させていただきます。文字数は三〇〇字程度。メールで投稿される場合はワード形式、もしくはテキスト形式で左記のアドレスまでお送りください。

あて先・お問い合わせは banbu@jimp.co.jpまで

地域の特効薬に

医療法人松尾クリニック理事長
松尾美由起

在宅医療とともに内科・循環器科で開業して二〇年になろうとしている。開業当初、病院で急性期の疾患を診て